



今号の内容「普及に移した技術の紹介」

- 夏秋トマト3 Sシステムにおける1鉢2株植えによる培土コストの削減
- 鉢花用アキギリ新品種「ミライエロー」の育成
- ホウレンソウの難防除雑草 ゴウシュウアリタソウの生理生態と対策

清流の国ぎふ

夏秋トマト3 Sシステムにおける1鉢2株植えによる培土コストの削減【支所担当／杉本和広】

夏秋トマト3Sシステムではコスト削減が課題となっており、培土の複数年連続利用や、1鉢あたり培土量の削減等でコストの圧縮も試行していますが、生育のばらつきやトラブル発生時のリスクの増加等が問題となっています。そこで、不織布ポット(容量5リットル)1鉢に2株植え、単位面積あたりの培土量を半減させることでコスト削減の可能性を検討しました。

【定植等管理方法】

- 1 夏秋トマト3Sシステム栽培において、ポット1鉢に2株を定植します(3,332株/10a、1,666鉢/10a)。
- 2 1鉢に2本のドリッパー(かん水装置)を挿します(図1)。
- 3 かん水量は、1株あたりが慣行(1株1鉢植え)と同等となるように設定します。



図1 1鉢2株植えの状況
(黒いチューブはドリッパー)

【成果の概要】

- 1 1鉢2株植えの可販収量(単位面積あたり)は慣行と同等以上となりました(図2)。
- 2 果実等級比率(品質の目安)は慣行と差がありませんでした。
- 3 これらのことから、1鉢2株植えにより可販収量を減らすことなく培土量の半減によりコストの削減が可能であることがわかりました。

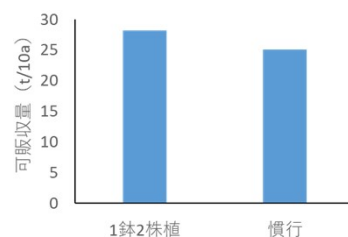


図2 1鉢2株植えの可販収量

鉢花用アキギリ新品種「ミライエロー」の育成【支所担当／工藤 溪汰】

中津川支所では、アキギリの鉢花用品種ミライシリーズ3品種(図3)に加え、新たな花色の新品種「ミライエロー」を育成しました(図4)。令和4年3月に品種登録申請を行い、令和4年秋より販売を開始しています。

【新品種の特徴】

- 1 花色はやや明るい黄色、草姿はコンパクトで花つきがよい。
- 2 9月下旬から10月中旬頃に開花し、花き品目が少ない秋に出荷できる。
- 3 耐寒性に優れ病害虫に強く、管理も容易である。
- 4 分枝が盛んなため摘芯をして脇芽を増やす作業が不要である。



ミライパープル



ミライブルー



ミライピンク

図3 従来のミライシリーズ ラインナップ



図4 新品種「ミライエロー」
(品種登録出願番号: 第36083号)

ゴウシュウアリタソウは飛騨全域のホウレンソウ栽培地区に拡散し、難防除雑草として問題となっています。本雑草については生理生態および防除法が充分知られていないので、研究で明らかになった知見をまとめて防除対策の基礎資料としました（成果をまとめたマニュアルを研究ホームページで公開予定です）。

【成果の概要(図5、図6、表1)】

- 1 主な生育ステージを写真で確認することで、よく似た他の雑草から識別できます(図5)。
- 2 種子は 15～35℃で発芽しますが、発芽適温は25～30℃で、10℃以下ではほとんど発芽しません。
- 3 種子は光発芽性で、暗黒下では発芽率が極めて低くなります(図6)。
- 4 種子が発芽する土壌深度は 2cm 未満で、地表に近いものほど発芽率が高くなります。
- 5 以上をふまえた対策として、侵入初期なら手取りで除去、大量発生時は土壌中の種子を土壌くん蒸剤で処理します。
使い勝手が良いのはダゾメット粉粒剤(表1)で、カーバムナトリウム塩液剤でも同等の効果が得られます。これにより、手取り除草で対応できる程度までに抑えることができます。



図5 ゴウシュウアリタソウの主な生育ステージ

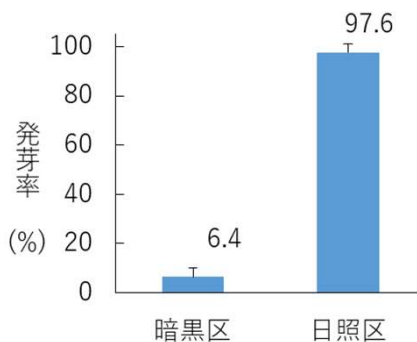


図6 日照の有無と発芽率

表1 土壌くん蒸剤の効果

試験区	草生数
ダゾメット粉粒剤	0
無処理	141.3

新体制で研究業務に臨みます！

令和5年4月に下記のとおり人事異動がありました(2名は新規採用)。よろしくお願い申し上げます。

人事異動(令和5年4月1日付)

転入者	旧所属	転出者	新所属
本所 所長 神尾真司	中農研 中津川支所	本所 所長 鍵谷俊樹	農業経営課
中津川支所 支所長 宮本善秋	中農研 本所	(中津川支所 支所長) 神尾真司	中農研 本所
本所 技術課長補佐 鍵谷俊樹	中農研 本所	本所 技術係長 渡辺新一	岐阜農林事務所
支所 管理調整係長 山口修二	多治見土木事務所	支所 管理調整係長 園原妙充子	恵那県事務所
本所 作物・果樹部長 久田浩志	飛騨農林事務所	(本所 作物・果樹部長) 宮本善秋	中農研 中津川支所
本所 施設園芸部長 二村章雄	飛騨農林事務所	本所 施設園芸部長 田口和則	飛騨農林事務所
支所 研究員(花き・作物) 工藤溪汰	農業技術センター	支所 主任研究員(花き・作物) 服部哲也	農産園芸課
本所 管理調整係 細川大輝	(新規採用)	本所 管理調整係 中島翼	消防課
本所 農業技手 富田愛心	(新規採用)		



新規採用職員(細川、富田)

